

# つなプロ避難所アセスメント 第2弾 第1・2週(5月20日～6月2日)に関する 分析速報

2011年6月4日

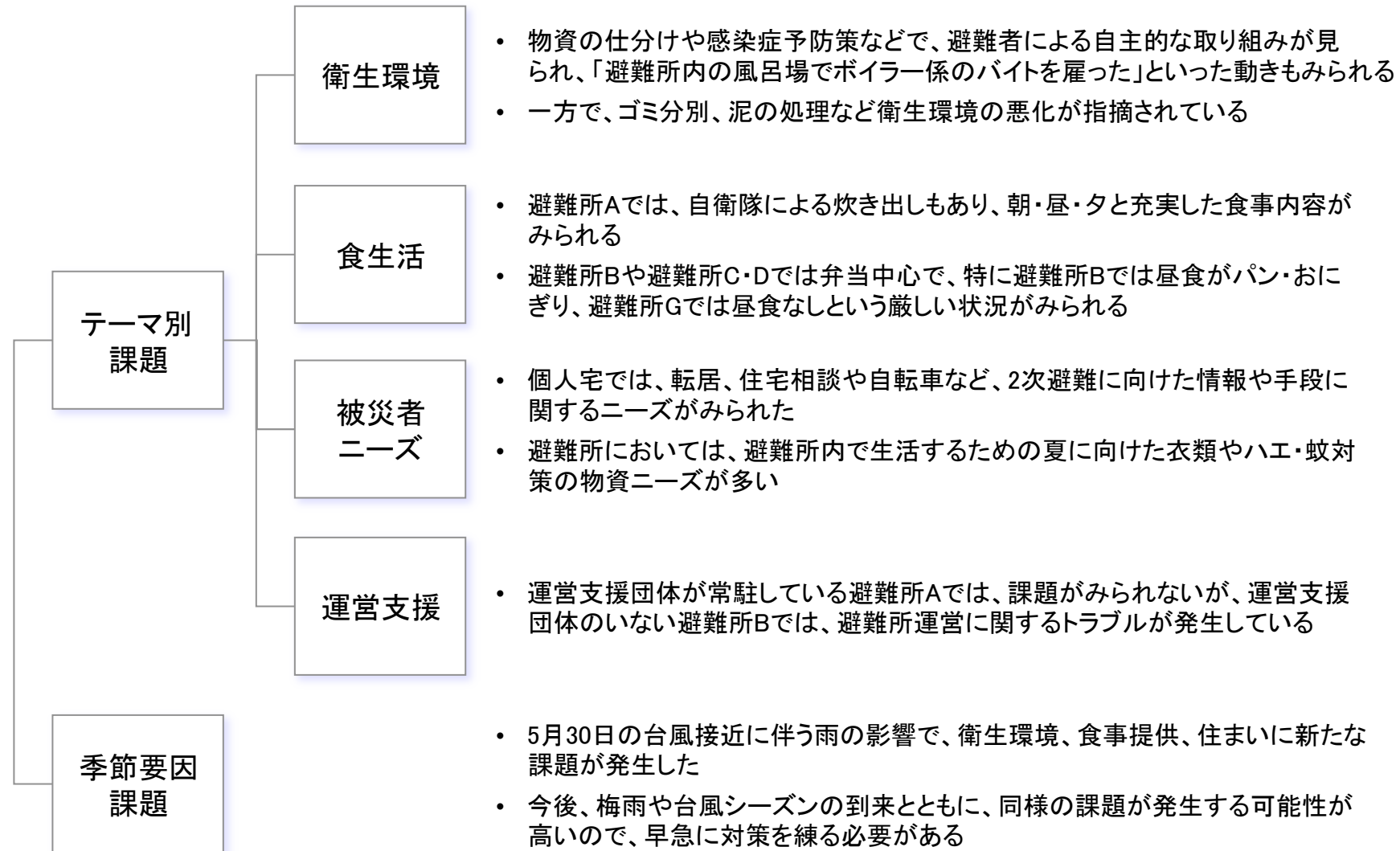


被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)

## 調査対象避難所の概況

避難所 エリア	避難所名	現在の避難者数 (2011/6/1)	最大避難者数 (調査時点)	過去アセスメント時の 特長的なコメント
気仙沼市	避難所A	170	300	毎日、避難者の有志が清掃を実施している。三食中、二食は自衛隊による炊き出しでまかない、近隣住民や過去の退去者が集まる
	避難所B	37	87	小学校の給食室で調理された食事を、島民が軽トラックで取りに行く
石巻市	避難所C	280	600	避難教室の振り分けは、地域ごとではなく、避難してきた順で、教室内は不衛生だった
	避難所D	226	300	トイレの水は流れるが、紙はまだ流せない。校内に掲示板はあるが更新がままならない
	避難所E	141	400	パンやカップラーメンのみの食事で、過去に急性胃腸炎が流行った
	避難所F	78	180	小学校の体育館を使用。食事献立が作成されており、その内容は保存もされていた
	避難所G	76	78	トイレは沢の水をとってきて、流している
登米市	避難所H	115	300	居住スペースとの間仕切りはあるが、避難者同士の間仕切りはなし。食事は、栄養士さんの管理のもとで調理
南三陸町	避難所I	200	250	炊出しもきており、物資も十分ある
	避難所J	62	150	自衛隊から三食配給されている。公共施設のため、行政が避難所をまとめており、情報が集まりやすく、深いニーズに対応した情報伝達が行われている
	避難所K	57	280	三食全てがおにぎりの時期もあった。給水車がいる
	避難所L	36	60	大正大学の炊き出しボランティアは4/22に終了
	避難所M	36	50	家庭科室を使って、避難者自身が食事を作る
	避難所N	27	110	高齢者向けの食事も作っているが、カセットコンロなので、あまり手の込んだものは作れない

資料: 宮城県HP、つなプロアセスメント調査(3月28日～6月2日)



## 避難所の自主性が増してきているが、衛生面の課題は残る

- 物資の仕分けや感染症予防策などで、避難者による自主的な取り組みが見られ、「避難所内の風呂場でボイラー系のバイトを雇った」といった動きもみられる
- 一方で、ゴミ分別、泥の処理など衛生環境の悪化が指摘されている

### 避難所におけるイベント開催状況と定性コメント

避難所名	ポジティブな出来事	ネガティブな出来事	主なイベント
避難所A	<ul style="list-style-type: none"> <li>•仕分けの作業ができた</li> <li>•体操楽しんでもらえた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•情報共有ができていなかった</li> <li>•夏服の高齢者用のものが少なかった</li> <li>•衣料仕分けの効率がわるかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•衣料物資の仕分け</li> <li>•復興市</li> </ul>
避難所B	<ul style="list-style-type: none"> <li>•物干し場完成・風呂入浴可能回数の増加(1回/2日→1回/1日)</li> <li>•下水道のボウフラ対策ができた</li> <li>•各階掃除機設置・虫よけ設置・古着の仕分け作業に住民も多数参加</li> <li>•避難所内の風呂場でボイラー系のバイトを1名雇った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•ゴミの分別が不十分</li> <li>•泥のおいがきつい、土埃がたつ</li> <li>•ハエが増えている</li> <li>•男性を不審者として警察に連絡をした</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•炊き出し</li> <li>•マッサージ</li> <li>•音楽イベント</li> <li>•バザー</li> </ul>
避難所C	<ul style="list-style-type: none"> <li>•物資の整理・弁当の配布(指定の時間になると率先して班ごとに動いている)</li> <li>•たたみ敷き詰め作業もほとんどの方が協力的</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•男子トイレが臭い→トイレ清掃の役割はあるがあまり効果が見られない</li> <li>•ひとりの児童が周りの大人から注意されて、抑え込まれていた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•炊き出し</li> <li>•マッサージ</li> <li>•音楽イベント</li> <li>•学習支援</li> </ul>
避難所D	<ul style="list-style-type: none"> <li>•炊出しの調理スタッフとして住民から20名募集(時給XXX円。避難所内、在宅避難の人も両方可)</li> <li>•プールと池の汚水除去を28日に自衛隊が行うことに。蚊、ハエの大量発生の防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•情報の伝達不足、イベントに参加しにくい</li> <li>•物資の段ボールが積まれているのに配給されない</li> <li>•不審人物が確認された</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>•炊き出し</li> <li>•マッサージ</li> <li>•音楽イベント</li> <li>•美瑛ツアー</li> </ul>

## 自衛隊などの炊き出しがなければ、食事は質素な状態が続く

- 避難所Aでは、自衛隊による炊き出しもあり、朝・昼・夕と充実した食事内容がみられる
- 避難所B・C・Dでは弁当中心で、特に避難所Bでは昼食がパン・おにぎり、避難所Dでは昼食なしという厳しい状況がみられる

避難所別の食事状況の違い

避難所名	朝食	昼食	夕食	
避難所A	<ul style="list-style-type: none"> <li>パン</li> <li>ソーセージ</li> <li>牛乳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご飯</li> <li>味噌汁</li> <li>おかず</li> <li>添え物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご飯</li> <li>味噌汁</li> <li>おかず</li> <li>添え物</li> </ul>	自衛隊による炊き出しもあり、充実している
避難所B	<ul style="list-style-type: none"> <li>パン</li> <li>おにぎり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>パン</li> <li>おにぎり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁当</li> </ul>	
避難所C	不明	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご飯</li> <li>味噌汁</li> <li>おかず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁当</li> </ul>	昼食がないなど、大変厳しい状況が推察される
避難所D	当番制	なし ※空腹の人はおにぎりなどを個々で食べる	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁当</li> <li>※6/1～弁当の支給は取りやめ、個別手配</li> </ul>	

## 個人宅では、2次避難に向けた情報や手段が求められる

- 個人宅では、転居、住宅相談や自転車など、2次避難に向けた情報や手段に関するニーズがみられた
- 避難所においては、避難所内で生活するための夏に向けた衣類やハエ・蚊対策の物資ニーズが多い

### 避難所別のニーズの違い

避難場所	衣食住	医療・介護	その他	定性コメント	
個人宅	・転居、住宅相談	なし	・チャイルドシート、子供用椅子 ・自転車	・現在二次避難しているが、避難所を退所するにあたって住居に関する相談にのってほしい	
避難所	避難所A	・食器用洗剤 ・水(乳児用) ・夏用衣類	・おむつ	・扇風機 ・虫よけ ・自転車	・夏物の衣類が足りない。自宅避難者にも配布する ・夏場はハエや蚊が大量に発生すると考えられる
	避難所B	・衣装ケース	・妊婦さんに対応できる常駐の医療関係者	・工具類	・これから町を復興していくうえで、工具とかがあれば便利。仮設住宅転居後も使える
	避難所C	なし	・高齢者向けレクリエーション	・ラジカセ	・高齢者の方々が、体を動かす機会が少ない。以前は毎朝ラジオ体操をしていたが、今はラジオがないため、実施していない
	避難所D	なし	・まむしの血清	・草刈り機	・夏が近づきまむしが大量発生する前に草刈りを終えたい。現段階でもまむしが発見され、また被害が出ているので早急な対応が必要

## 運営支援団体のいない避難所では、管理上のトラブルが目立つ

- 運営支援団体が常駐している避難所Aでは、課題がみられないが、運営支援団体のいない避難所Dでは、避難所運営に関するトラブルが発生している

### 避難所別の支援団体と運営課題

運営支援	避難所名	運営支援団体	日帰りボランティア	運営上の課題
あり	避難所A	<ul style="list-style-type: none"> <li>チーム神戸</li> <li>ピースポート</li> <li>つなプロ</li> <li>JIMNET</li> <li>石巻市／神奈川県・鳥取県職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナディア</li> <li>災対連</li> <li>チーム宮崎、野口</li> <li>フランス人協会</li> <li>ロッツ</li> <li>NGOラシカ</li> <li>東北大学大学院</li> </ul>	特になし
	避難所B	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンナス</li> <li>JICA</li> <li>つなプロ</li> <li>救護室(日赤、大学病院、ジャパンハート)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JCI</li> <li>築地場外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難所に入りたい人に対して、まず市を通して入る必要があるかを確認後に避難所本部で判断するという流れ。本部に市職員が居るのに受付もしない</li> <li>(特定個人)以外に常駐の職員がおらず本部のほかの人に逐一指示しすぎて業務を任せられていない</li> </ul>
	避難所C	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外の警察署員</li> <li>日本ユニバ</li> <li>LOTS東京</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊婦さんに対応できる常駐の医療関係者</li> </ul>	特になし
なし	避難所D	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>石巻市</li> <li>NPO on the road</li> <li>日本赤十字</li> <li>ピースポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴミの捨て方、分別についてのトラブルが発生</li> <li>班長会議の際、他の避難所への不満や、注意しない親への非難があった</li> <li>医師、保健師・ナースの巡回なし日が1週間で5日あり、他避難所と比較して多い</li> </ul>

# 雨の影響は大きく、今後の梅雨・台風に備える必要がある

- 5月30日の台風接近に伴う雨の影響で、衛生環境、食事提供、住まいに新たな課題が発生した
- 今後、梅雨や台風シーズンの到来とともに、同様の課題が発生する可能性が高いので、早急に対策を練る必要がある

## 雨の影響による避難所課題の発生

課題	定性コメント	対策案
衛生環境の悪化	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨によって排水溝が氾濫し、大きな水たまりができた。校舎内1Fが土足なので、通常以上に泥で汚れた可能性がある(5/30、避難所A)</li> <li>昨日の天候により、避難所の入り口が泥だらけになっている(5/31、避難所B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入口への泥拭きシート設置</li> <li>泥拭きルールの徹底</li> </ul>
食事提供機会の断絶	<ul style="list-style-type: none"> <li>台風の影響により道路が冠水し、周辺住民の方々の食事を配送できず弁当が余る(5/30、避難所C)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅避難者への食糧備蓄推進</li> <li>雨天時の食事配給体制構築</li> </ul>
住まいの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨日の強風と冠水により、2家庭が避難所に入所した。引っ越しによって、子どもたちが遊ぶスペースがなくなった。冠水の影響により、地域住民が無断で学校の駐車場に駐車をし、学校が困っていた(5/31、避難所B)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨天時及び再入居受入ルールの構築</li> </ul>



## つなプロ避難所アセスメントについて

### ■被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト(つなプロ)とは

仙台・東京・関西を中心とした全国各地のNPOネットワークとして3月14日に発足した「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト」(つなプロ)は、これまでのべ400人のボランティアを宮城県に派遣し、600か所の避難所を、3月28日から3週に渡って巡回訪問。避難所の実態把握のためのアセスメントを実施している。アセスメントによって判明したニーズや課題を、地域内での支援の取り組みや、介護、医療、障害者・外国人・難病患者支援など専門性を持つNPOとマッチングすることで解決を進めている。600か所の避難所データは、富士通より無償提供されたクラウドシステムによって、提携NPO間で共有されている。

### ■幹事団体

(特)せんだい・みやぎNPOセンター、(般社)ダイバーシティ研究所(DECO)、  
IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]、スペシャルサポートネット(SSN)関西、(特)ETIC.、日本財団

### ■実施スケジュール

- ・3月28日(月)～4月17日(日):ボランティアによる、避難所の巡回訪問とアセスメント、  
現地および東京などの支援団体・機関と随時マッチング(3週間)
- ・4月18日(月)～5月1日(日) :ボランティアによる巡回訪問・マッチングの継続と、  
避難所での継続的な支援(自宅避難者の訪問を含む)を準備
- ・5月20日(金)～6月2日(木) :ボランティアによる巡回訪問・マッチングの継続と、  
避難所での継続的な支援(自宅避難者の訪問を含む)を実施

### ■詳細/ウェブサイト <http://blog.canpan.info/tsunapro/>

### ■分析実施 RCF災害支援チーム